

平成15年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
事業実施計画書及び所要額内訳書

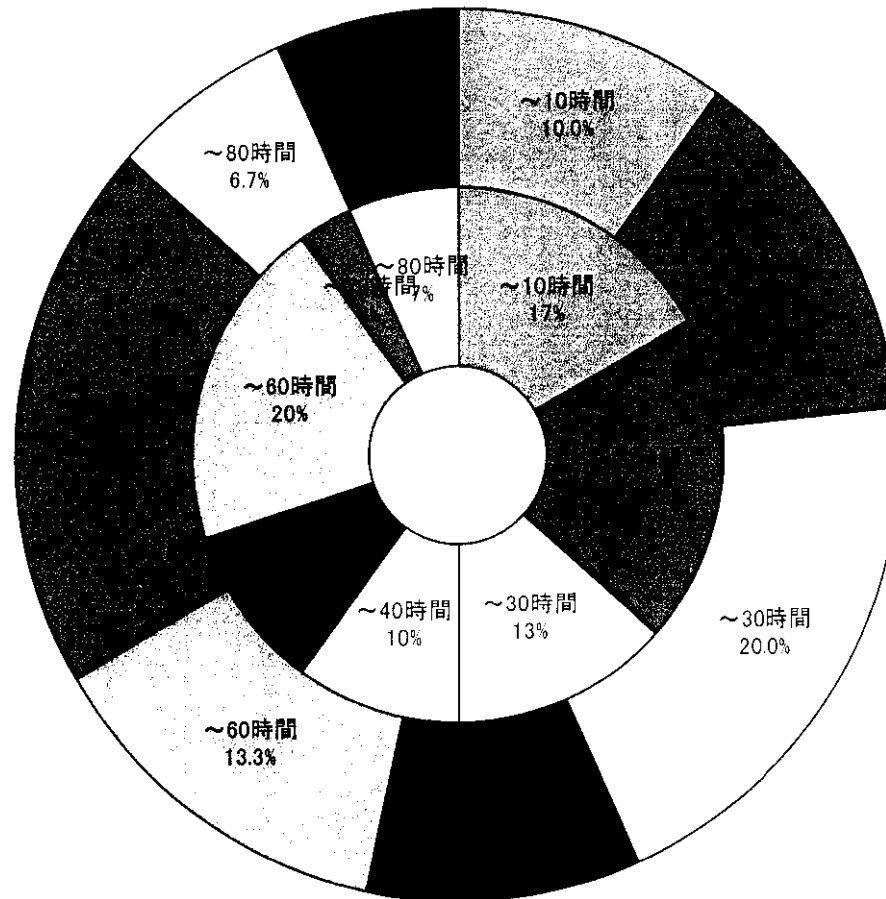
| |
|--|
| 都道府県名、市町村名又は公益法人等名 仙台往診クリニック・東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野 |
|--|

1. 事業実施計画書

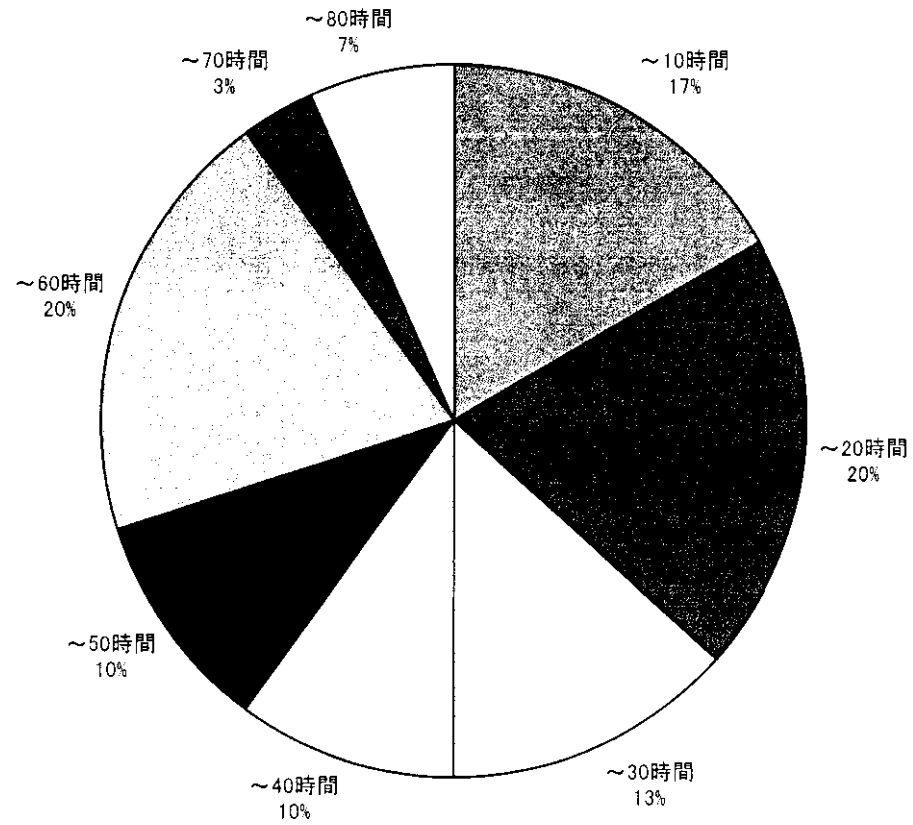
| | |
|---|---|
| 事業区分 ※実施要項の3に掲げる(1)~(3)の いずれかの番号を記入すること | (区分番号) (1) |
| ① 事業名 | (具体的な事業名を記入すること) 重症高齢者等の24時間安心在宅介護提供に関する研究事業 |
| ② 事業実施目的 | 在院日数削減で在宅へ移行する人工呼吸器、中心静脈栄養、常時吸引等の複数高度医療を必要とする重症高齢者、特定疾病療養者および単身者に、365日・24時間の安心在宅介護の提供体制を確立することを目指す。 1. 重症高齢者等の24時間在宅介護のニーズとサプライのミスマッチを解明し、 2. 在宅での365日・24時間安心介護提供のための全国レベルでの政策提言を目的とする。 |
| ③ 事業実施計画 | 1) 重症高齢者等の365日・24時間安心の在宅介護提供に関する研究委員会の設置 2) 重症高齢者等の24時間安心在宅介護提供に関する調査①② 3) 在宅での365日・24時間安心介護提供体制のモデルを作成 4) モデル検討サービス担当者会議開催 5) 報告書を作成し、全国レベルでの政策提言を行なう |
| ④ 国庫補助所要額 | 5,000千円 |
| ⑤ 事業実施予定期間 | 平成15年12月1日 から 平成16年3月31日 まで |
| ⑥ 事業実施予定場所 | 仙台往診クリニック |
| ⑦ 事業内容 | 1) 重症高齢者等の365日・24時間安心の在宅介護提供に関する研究委員会の設置 委員構成8名 開催回数7回 検討事項 調査項目採択・調査結果・モデル作成・モデル検討・政策提言等 2) 重症高齢者等の24時間安心在宅介護提供に関する調査 調査①既に在宅で複数高度医療を受けている重症高齢者、介護保険の特定疾病に該当する複数高度医療の療養者および単身者合計50名に、調査票調査を行なう 調査②現在入院中で複数高度医療を受けている重症高齢者等において、今後入院から在宅へ放出されるであろう予測調査を病院に対して全国規模でおこなう。 3) 2)の調査結果の集計・解析を行ない、在宅での365日・24時間安心介護提供体制のモデルを作成 4) モデル検討サービス担当者会議開催 調査①の対象者5名に対して、作成したモデルを実際に提供した場合を想定し、その状況を対象者と共に検討し、モデルの妥当性・問題点を明らかにする 対象者には、サービス担当者会議の開催率を高める事、利用者と医療・介護事業所の連携を促進する事を目的として、手書きモバイルなどのデバイスを配付する 5) 報告書を作成し、全国レベルでの政策提言を行なう |
| ⑧ 事業の効果及び活用方法 | ・人工呼吸器、中心静脈栄養、常時吸引等の複数高度医療を必要とする重症高齢者、特定疾病療養者および単身者の、在宅介護提供を確立するための必要因子が明らかとなる。 ・これらの在宅介護提供確立の全国レベルでの提言をおこなうことにより、365日・24時間安心できる重症高齢者等の在宅移行を促す。 ・重症高齢者等の長期入院を減じ、入院医療と在宅療養間の連携を円滑にする施策を推進する。 ・入院医療または在宅療養という2項分離(選択ないし対立)を解消し、在宅療養に含まれた(在宅生活の一部としての)入院医療という位置づけを目指す(生活に包含された医療)。 |

- (注) 1. 事業ごとに別業とすること。
2. ②は、実施する事業の目的を詳細に記入すること。
3. ③は、実施する事業の具体的な計画を詳細に記入すること。
4. ⑦は、実施する事業の事業項目、客体、事業の実施方式等を具体的かつ詳細に記入すること。当該欄に記入困難な場合は任意様式で提出することも可。
また、事業の実施に当たって参考となる資料があれば添付すること。
5. ⑧は、実施する事業の効果と活用方法を具体的に記入すること。
6. 調査事業に関する事業については、別添「調査事業計画書」を添付すること。

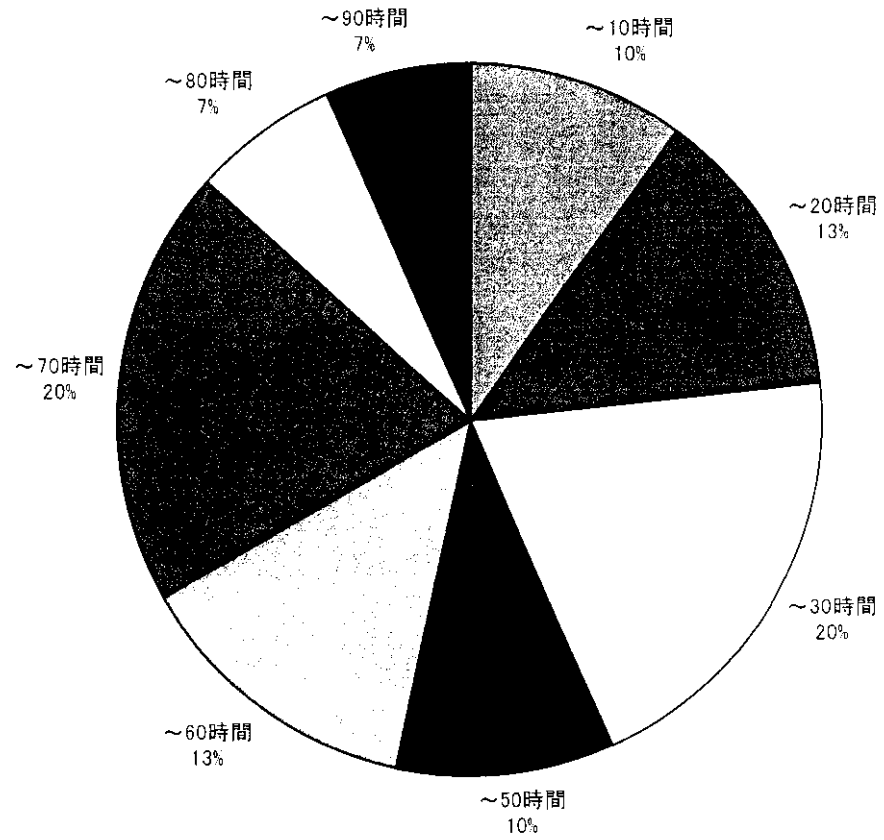
ALS 介護サービス利用の現状と理想：週あたりのサービス利用時間 (n = 30)
内円：現状、外円：理想



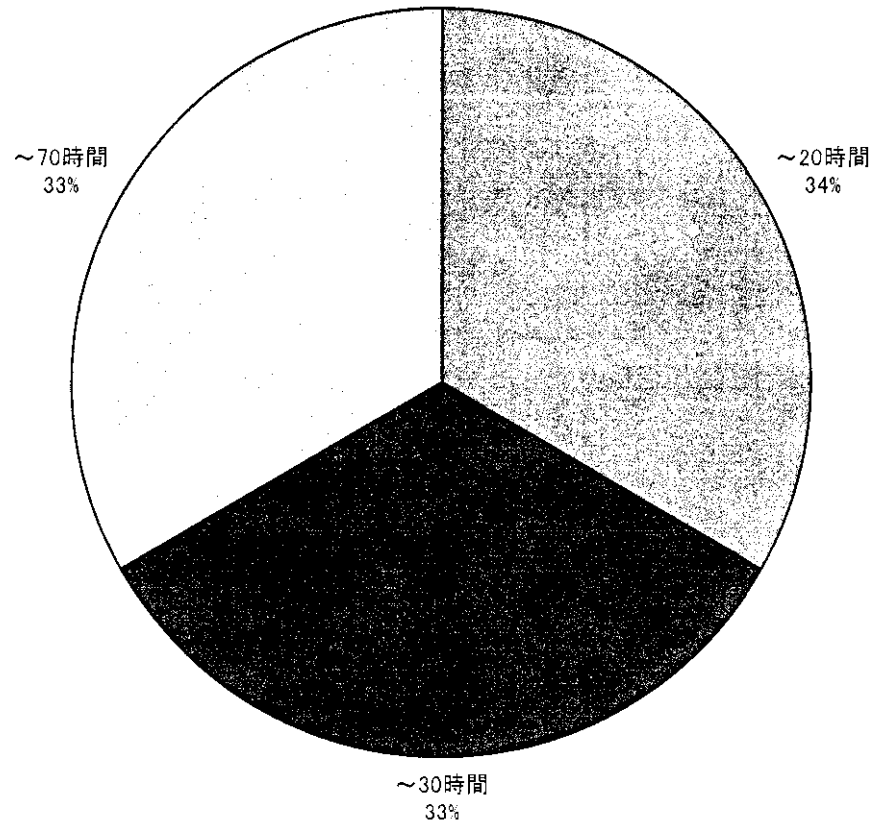
【3】 介護サービス利用の現状 (ALSのみ、n = 30)
(週に利用している合計時間)



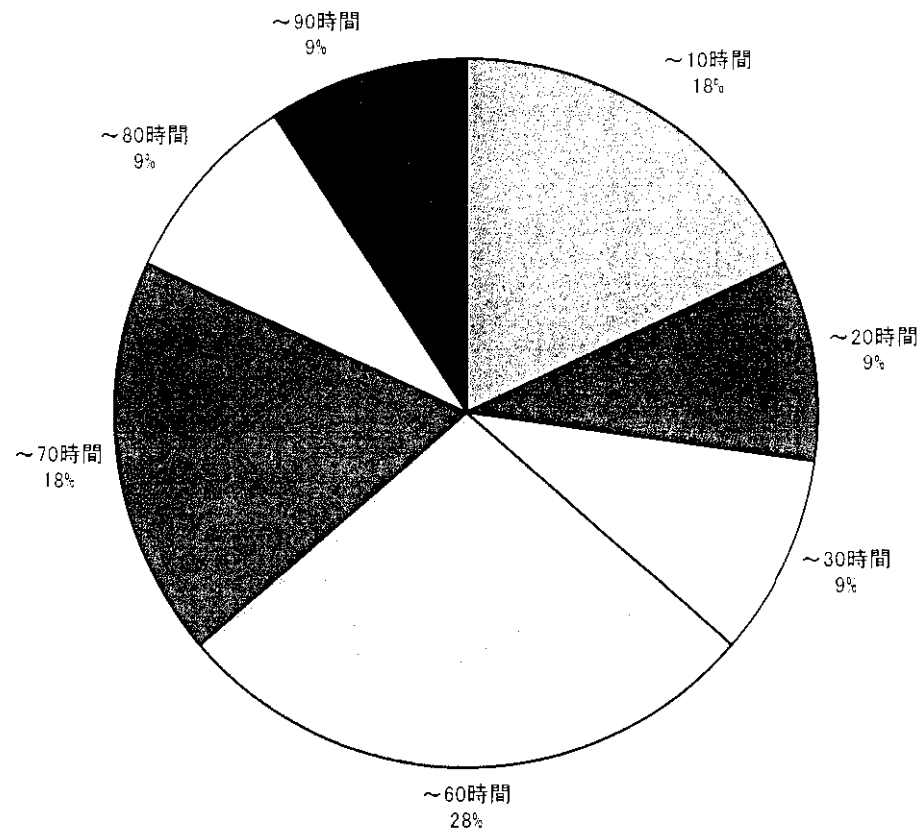
【4】介護サービス利用の理想 (ALSのみ、無回答は現状のまま、n = 30)
(週に希望する合計時間)



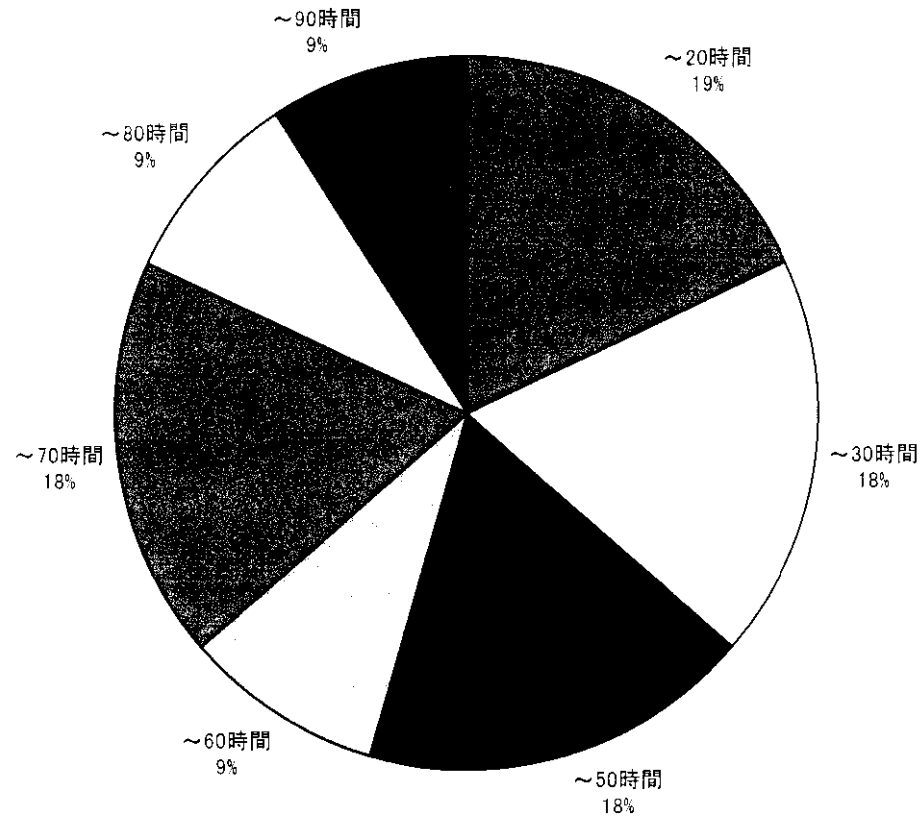
【4】 介護サービス利用の理想 (ALS 40代、n = 3)
(週に希望する合計時間)



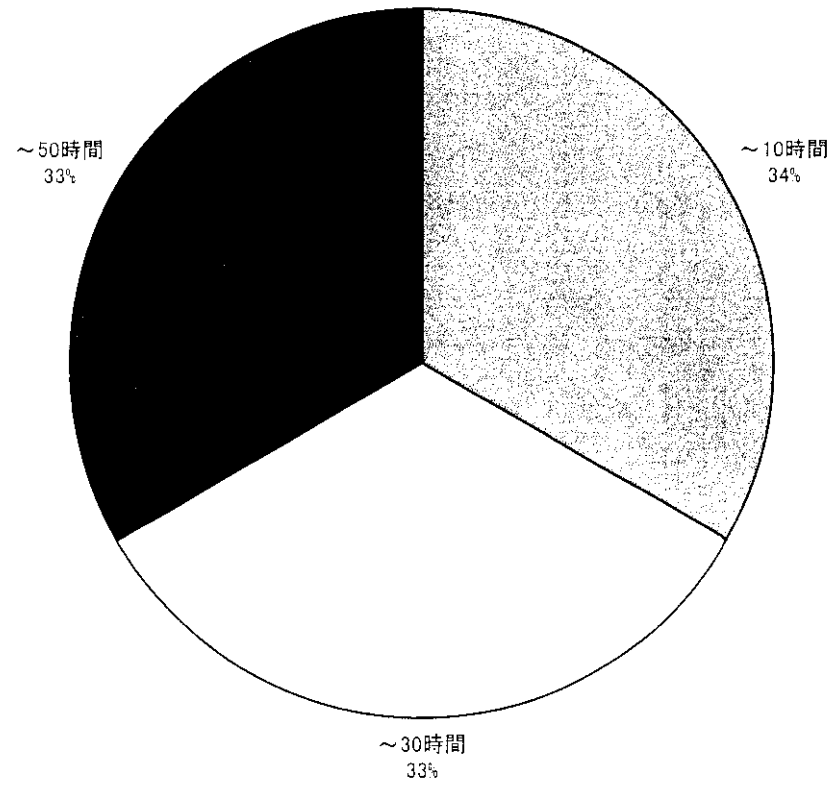
【4】介護サービス利用の理想 (ALS 50代、n = 11)
(週に希望する合計時間)



【4】介護サービス利用の理想 (ALS 60代、n = 11)
(週に希望する合計時間)



【4】介護サービス利用の理想 (ALS 70代、n = 3)
(週に希望する合計時間)



全国の在宅ALS療養者(呼吸器利用)が満足してヘルパーを利用するには・・・

呼吸器+在宅のALS療養者数 1,125 人

| | | | |
|---|-------------|-------|------------|
| 要望として週60時間 では足りない療養者 (24hアンケートのALS療養者 30人の要 全員が在宅、ほぼ全員が要介護度5) (不足時間がヘルパー時間だと仮定) | ～70時間：20.0% | 225 人 | 2,250 時間/週 |
| | ～80時間：6.7% | 75 人 | 1,500 時間/週 |
| | ～90時間：6.7% | 75 人 | 2,250 時間/週 |
| | 合計 | 375 人 | 6,000 時間/週 |

ヘルパー単価 1時間あたり 3,770 円

ヘルパー派遣費用(全国)
週あたり 22,620,000 円
年間あたり(52週として) 1,176,240,000 円
... 約11億7624 万円

療養者母数を人工呼吸器装着全療養者、5500人にすると 5,750,506,667
... 約57億5050 万円